

研究機関：広島大学

研究課題名	形質細胞骨髄腫におけるKL-6発現の臨床的意義
研究責任者名	広島大学原爆放射線医科学研究所血液・腫瘍内科研究分野 教授 一戸辰夫
研究期間	2020年6月4日(倫理委員会承認後)～2022年3月31日
対象者	2015年1月から2020年4月の間に、広島大学病院血液内科にて形質細胞骨髄腫の診断を受けた患者さん
意義・目的	形質細胞骨髄腫に対するKL-6発現が予後、治療効果への影響を及ぼすのか解明するためにこの研究を計画しました。
方法	本研究は、診療上採取された骨髄標本・細胞を用いてKL-6の発現を観察する他、診療録情報から発現と臨床病期、治療効果、生存率などの関連性を検討します。またカルテから使用する内容は年齢、性、疾患名、臨床症状(治療法も含める)、転帰、白血球数、ヘモグロビン、血小板、血清KL-6値、アルブミン、 $\beta 2$ マイクログロブリン、LDH、クレアチニン、IgG、IgA、IgM、IgD、IgE、遊離軽鎖(FLC)、尿蛋白量、骨髄中の細胞数、形質細胞のフローサイトメトリー・染色体分析です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	ありません
試料・情報の管理責任者	広島大学原爆放射線医科学研究所血液・腫瘍内科研究分野 教授 一戸辰夫
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に試料・情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 TEL：082-257-5861 広島大学病院血液内科 准教授 福島伯泰